社員の御家族様、取引先様にお届けします。
この新聞は就労継続支援Ｂ型事業所 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション様の協力で発行しています。

エムズホールド通信 Vol.4

2019 年 5 月 18 日発行（毎月第三土曜日）
発行所：エムズホールド株式会社
〒525-0051 滋賀県草津市木川町 1595
TEL：077-574-8276
編集者：K.Konishi　ご意見: info@mshold.com
Y.Shimazu
日本語版 / インドネシア語版

両親へ届け！～紙面から伝わる息子の成長～

先月号にも少し記載させて頂いたが、本通信には日本語版ともう一つ、インドネシア語版がある。弊社へ学びにきている実習生の実家に届けて愛息子の近況を知って頂くためである。先日、実習生・ムハマド・リザルの携帯へ、インドネシアの両親から写真付きのとても嬉しいメッセージが届いた。翻訳すると以下の通り。

―毎月エムズホールド通信を送ってくれてありがとうございます。日本でどんな暮らしや仕事をしているか毎日心配になっていましたが、この通信が送られてきてからは毎月読み、リザルのことが良くわかるし楽しい気持ちになります。この通信にみんなのやってる事を記事に入れて、インドネシアの実習生の家族にもちゃんと送っていてすばらしいです。来月号も楽しみにしています。Rizal tampan(リザルかっこいい) Terima kasih banyak(本当にありがとう)

（リザルの父と母）

このメッセージを頂くまで、実習生に実家の住所を聞いてエアメールで送付してはいるものの、毎月きちんと届いているのかいささか不安であったが、今回このような写真やさらにお礼の御言葉まで頂き、制作側としては継続してきた取り組みが実り、感無量である。また、前田社長が掲げる「ガラス張り経営」は実習生の御家族にも共有されようとしているのである。今後も本通信の日本語版はもちろん、インドネシア語版も発行し続けることで、さらに多くの方の認知を高めていきたいと思う。

（リザル一家の家族写真）

今回のように本通信を手に取って頂き、良い意見や悪い意見、そして「来月号はこんな(誰の)記事を載せて欲しい」といったようなリクエスト等を頂戴することが制作側の大きなモチベーションとなる。皆様方の忌憚のない率直な意見をお待ちしているので弊社のメールアドレスもしくは従業員に直接伝えて頂きたい。 → MAIL:info@mshold.com

４月度月間ＭＶＰ発表！～意外な選出者!？～

５月 18 日（土）弊社会議室にて月次決算報告会議の後、毎月恒例の MVP 発表を行った。今回の選出者は賛否両論の声が上がったが、少し先のことを計画立てて考えられるようになってきつつあり、顔つきや言動が変わってきたリフォーム事業部・部長有浦信一と管理部・小西にインドネシア語を教えていることと、後輩のアジやフィルマンの面倒をみていることを評価されたアンドリが選出された。選出者には賞状と賞金１万円が授与された。選出者の有浦は**「これから郵便局や施工完了後のお客様のスペースをお借りしてリフォームに関してのイベントをどんどん行っていくつもりです。今期も残りわずか。頑張っていきます!」**と、そしてアンドリは**「11 月にインドネシアに帰ります。残りの MVP を全て取るつもりで頑張ります!」**とそれぞれ意気込みを話した。来月のＭＶＰは６月８日（土）に発表される。

（前田社長による MVP 発表）

（左から、アンドリ、有浦、前田社長）

令和の主役はオレたちだ！～新時代を切り拓く！～

「おつかれさまで～す」16 時頃従業員たちが元気な声で弊社事務所に帰ってくる。帰ってきたのもつかの間、弊社従業員、岡野涼輝、和田智仁、布施樹乃、小椋真里は何かに取り憑かれたように図面作成に取り掛かる。そこで図面について熱い議論が取り交わされているのだ。先日のある一場面を紹介しよう。小椋が図面について悩んでいる様子であった。それを察知したのか従業員たちと今回は前田社長までもが同氏に寄り添い懸命に教えていた。そこに罵詈雑言は一切なく、時折冗談を交えながら教えてもらうその光景は、穏やかでやさしさに包まれていた。今日、少子高齢化等の様々な問題を抱える日本であるが、新元号「令和」の意味である「明日への希望と共に、日本人ひとりひとりが大きな花を咲かせる」のように、これからは彼らのような若者たちがお互いに切磋琢磨しながら、彼ららしい大きな花を咲かせてほしい。

（小椋を囲む従業員と前田社長）

M's Café ～地域の方々とほっとするひと時～

○園児と初のコラボ作業　～地域密着で繋がる和～

みなさんは、弊社の外壁に子どもが塗ったような絵が並べられていることにお気づきだろうか？遡ること昨年の 10 月、弊社事務所の近隣にある、すぎのここども園の園児たちに協力を依頼して同外壁に塗り絵を描いてもらうイベントを開催した。このイベントを担当した弊社管理部の嶋津有香は以下のように語る。

―今回のイベントの絵を描くにあたって、どのようなものが良いか考えた結果、街並みを題材に仮設足場やリフォームをイメージしたエムズらしさのある絵を描くことに決めました。ただし、園児たちに絵を描いてもらうことを目的にしているため、リアルな足場、リフォームのイラストではなく、子どもたちが、家が並ぶ街を創っているメルヘンな世界観を持つ絵を制作しました。絵の制作以外にも、当日の段取りや園との打ち合わせ、物品の準備等企画に一から関わり、イベントを開催することの大変さを肌で実感しました。そして、当日は晴天に恵まれ、楽しそうに筆を握る園児たちの様子を見て、頑張って準備して来た甲斐があったなと嬉しく思いました。塗り絵をする園児たちの様子を見て感動したことが２つあります。１つは感性の豊かさ。大人になると、「りんごは赤」といった固定概念に縛られてしまうことがあります。しかし子どもはりんごをピンクや青に塗ったりします。これを誤りであるかと問われると誤りではないと私は思っています。絵の世界は自由だからです。今回、何色に塗れば良いか分からない園児がいるのではないかと思い、例として色を塗った見本を用意しましたが、もしかしたら不要だったかもしれませんね。オリジナルでハートマーク等の絵を描いていた園児もいました。子どもたちには固定概念に縛られない自由な発想を捨てることなく成長していって欲しいなと思います。もう１つは年長さんが年少さんに塗り方を教えていたことです。一つの筆を一緒に持って塗っている園児や、悩んでいる園児に対して「ここに赤色を塗ろう」とアドバイスをしてあげるお兄さん・お姉さん園児の姿も。年齢があまり変わらないにも関わらず、年下の園児を助けてあげるその様子に、子どもながらに大人びていて凄いなと思いました。今回のイベントを行うにあたって、すぎのここども園の園児・保護者そして先生方はもちろんですが、他にも色々な方々に準備の段階からお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

(塗り絵の完成図　すぎのここども園にて)

(外壁に貼られた塗り絵と担当者嶋津)

このようなイベントこそ、弊社が目指している「地域密着型企業」というパズルにとても重要なピースである。ネット社会になり、地域の方々との関わりが少なくなりつつある今の時代だからこそあえて、これからも地域との「和」を大切にしていく。

親父の留魂録　【天命に従え】

そもそも〝命〟（メイ）とは、何か？簡単に言えば、天から与えられた使命である。人はこの世に生を受けると同時に、この世の中の為に、やるべき仕事を与えられる。それを知る事が〝知命〟であり、命を実行する事が〝立命〟である。命という文字を考えると、子どもに名付ける事を命名という。親は子どもの将来を思い、歩んでほしい人生を名前に託す。そう、子どもに命を与えるのである。最近では、キラキラネームと言われる名前など、名付けを簡単に考えすぎではないだろうか？子どもは、その名（命）を背負って一生を歩む。我が社には、五徳（仁義礼智信）のみで、成り立つ名前を持っている社員もいる。親御様の子どもに対する思いが、犇々（ヒシヒシ）と伝わってくる。今一度人生を振り返り、自らの名前に込められた命を知り（知命）、命を立てて（立命）みてはどうだろうか。

懲戒決議案可決！～これぞ民主主義だ！～

5月18日(土)弊社会議室にて月次決算報告会議の前に、ある人物(以下某氏)の行為に対しての懲戒決議が取り行われた。５月６日(月)、某氏は草津市内で勤務時間中にも関わらず、社内規律に反する行為が目撃された。本人は行為を概ね認めている。社内規律に反する行為は、お客様や他社の方々の信用を失墜させかねない。また、毎日朝早くから夜遅くまで汗を流しながら働いている従業員達をも裏切る行動である。そこで会議中に従業員による投票を行い、役員から提案があった減給処分にすべきか否かを決めた。結果は可決者がわずかながら多く、某氏の懲戒決議案が可決された。このような場合は会社側からトップダウンで処分を決める企業が大多数であるが、弊社は民主主義に則って従業員に意見を聞く場を設けた。小規模ではあるが、これこそが民主主義の形である。民を主として考える、会社で言えば「従業員ファースト」の心が垣間見えた瞬間であった。

外壁屋根塗装工事
仮設足場設置工事
各種リフォーム工事

TEL：077-574-8276

お家に関する
お悩み…
何でも
ご相談ください！

地域とともに エムズホールド株式会社

ご意見・ご感想等ありましたらご連絡ください。
TEL: 077-574-8276
FAX: 077-574-8228
MAIL: info@mshold.com